

横浜市 2026 年度予算案発表される 安心・安全な市民生活の推進事業と 再開発事業なども盛り込む！

1月26日山中竹春横浜市長は2026年度予算案を発表しました。予算編成の特徴は『「横浜市新中期計画 2026～2029」(素案)』の初年度としています。そして、現在の物価高騰の対策として国からの19歳以上の直接支援給付と給食費の補助事業や消費喚起の対策なども入れています。しかし、こうした内容にも市独自の施策なども望まれています。

新中期計画の関係から「市民生活の安心・安全」「横浜の持続的な成長と発展」とし5つの内容から作成しています。1番目は「物価高騰対策」2番目は「安心・安全な暮らし」3番目は「子どもと向き合うゆとりの創出」4番目は「魅力あふれる心地よいまち」5番目は「世界に誇れる都市づくり」としています。しかし、新たな開発施策なども盛り込まれ2期目の公約推進と今後4年間の市政運営について注視していく必要があります。

予算案の特徴と概要について

横浜市の人口が昨年に続き増加し、その中でも20～40歳の子育て・生産年齢人口の増加や出生数の減少率の改善数値なども示しています。こうしたことから給与の引き上げによる市民税の増加があるとしています。法人市民税は企業収益の増加としています。主な内容では防災・防犯対策は防犯灯の増設や災害避難所の設備関係充実。特養ホームの入所待機期間の短縮、敬老パス事業の継続と地域交通事業拡充。小児医療費助成制度は6月から18歳までの無償化を実現。図書館の魅力向上と新図書館の整備などを進めます。「世界に誇れる水際線」として臨港パークから山下ふ頭までの区域を再整備する構想も打ち出しています。持続的に成長・発展する都市として「全市的な土地利用規制の見直し」や都心部と郊外部の2つのコアを形成する方向を打ち出しています。住み良い横浜を目指して市民要求の前進と実現に向けて活動を進めましょう。

市会第1回定例会のお知らせ！

日時 1月28日～3月24日

2月10・18・20日(本会議予定)

3月24日(本会議・予算案議決)

常任委員会・予算委員会など

*問い合わせ 市議会局

電話 671-3040

*共産党議員の発言は市議団事務局へ

電話 671-3032

市民の会ニュース

市民の市長をつくる会 250号

横浜市中区桜木町3-9

平和と労働会館3階

電話・FAX 045-650-1896

メール mail@simin.jp

発行責任者 菅野 隆雄

2026年2月2日